

各 位

会 社 名 グラントマト株式会社  
(コード番号 7137 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 南條 浩  
問合せ先 取締役管理本部長 遠藤誠也  
電話番号 0248-94-2014  
(URL <https://www.grantomato.jp/>)

### 通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2023 年 10 月 6 日開催の取締役会において、2022 年 10 月 13 日に公表した 2023 年 8 月期の通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023 年 8 月期通期業績予想数値の修正（2022 年 9 月 1 日～2023 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,358	146	133	89	46.43 円
今回修正予想(B)	12,824	218	214	253	132.24 円
増減額(B-A)	466	72	81	164	—
増減率(%)	3.8%	49.3%	60.9%	184.3%	—
(参考) 前期実績 (2022 年 8 月期)	11,721	200	190	228	118.98 円

#### 2. 修正の理由

通期業績における売上高については、原材料・エネルギー価格の高騰を初めとする断続的な仕入価格の上昇などの影響により、全体として厳しい展開を強いられる中、当社の主力サービスであるストア販売部門は、プロモーション戦略を発揮すると同時に、積極的且つ機動的に営業展開を行ったことにより、売上高は堅調に推移しました。

農産流通部門は、米の集荷数量増加に向け主力地盤である福島県の県中・県南エリアの強化に加え、高いブランド力を持つ会津米の強化を図るべく同エリアへの積極展開を行い、併せて、精米加工技術の向上による品質の維持・向上とプロモーション戦略の発揮により、インターネットの米販売が堅調に推移しました。また、コロナ禍における行動規制が徐々に緩和され、飲食店等の訪日外国人のインバウンドの復調が見られ、業務用米の需要も回復基調に転じました。

FDC・インターネット販売部門は、消費財や農業関連商品等の価格の上昇があったものの、同業他社に比しての価格優位性の発揮と積極的なプロモーションの効果により、販売は大きく伸ばしました。

収益面においては、仕入価格の上昇圧力が高まる中、売価統制並びに在庫コントロールの強化と当社の強みでもあるDC型（ディストリビューション型）物流管理体制の効率的運用の効果、加えて種苗関連のPB商品化などの収益反映等、機能・基盤強化と垂直統合の進展効果が反映し、当初予想を上回る収益を確保することができました。

また、当社事業所物件が、福島県が施行する国道121号(会津縦貫北道路(若松北バイパス))事業に係る用地買収に該当したことに伴う、移転補償金の特別利益185,584千円を計上しております。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上